



"プロレス×保育士"
新日本プロレス KUSHIDA選手
キッズサポーター体験インタビュー



キッズサポーター：KUSHIDA選手
体験実習先：保育園きのね/川崎市

Q1. キッズサポーターとして保育の仕事の体験をした率直な感想を教えてください。

園から結構距離がある公園でも、疲れることなく往復の道をととても一生懸命歩いていて、改めて「保育園きのね」に通っている子どもたちの体力に驚きました。また、保育士さんが、広い視野で俯瞰して見ながらも、連携を取ながら対応していることが素晴らしいなと思いました。

Q2. 体験の中で印象的な場面はありましたか？

一人男の子がこけてしまって、すごく擦りむいてしまったんですけど、特に泣くこともなく、保育士さんたちの連携で水で洗い流すことができたシーンとか、みんなで綱引きをしたりとか、落ちている葉っぱを掛け合ったりとか、砂だらけ泥だらけになりながら楽しい時間を共有できたことです。あとは基本的なことですけど、車に轢かれないように横断歩道を渡る時に保育士さんたちと連携したシーンですね。周囲を見渡すとか、そういうのは私も全然初心者ですので、足でまといにならないようにやったつもりですけど、まだまだ勉強したいなと思いました。



Q3. 令和7年神奈川県独自地域限定保育士試験を受験されましたが、初めての受験だったのでしょうか？また、受験にあたりどのような苦労や工夫をされましたか

実は2回目の受験でした。最初は全国試験を受けて、筆記が7教科合格、2回目の神奈川県の試験で全ての筆記が合格し、実技講習会を受けて合格という経緯ですね。色々な方の支えがあって受験ができましたし、家族も時間を作ってくれたので、周囲の人の理解と協力があった合格でした。

Q4. ご自身のキャリアにおいて、保育士資格はどのような場面で活かせそうでしょうか？

プロレスラーを20年やって、プロレスを次の世代に伝えるとか、説明するという役割が自分に課されてきた時に、子どもたちの未来、プロレスだけでなく広い視野で見るとスポーツ、地域社会、広く言えばもう本当世界平和につながるぐらい、保育って大事な街づくりの根幹だと思うんですよね。毎日公園に行って子どもたちの成長を見守って、小さな変化を見つけて親御さんに伝えるとか、そういう仕事尊いと思います。そういうこともプロレスと同時に発信できたらなと思います。

Q5. 最後に、保育士資格の取得に向けて頑張っている方に向けてメッセージをお願いします。

世間では結構ネガティブなニュースが目についちゃうお仕事だと思うので、現場で働いている保育士さんたちが気の毒だなと思うんです。こんなにも素晴らしい職業、尊い職業だなと思っているので、僕もまだ試験に合格したばかりですが、僭越ながら、絶対その道は間違っていないよと言いたいと思います。背中を押したいし、心から応援しています。

